中央ブロック交流会
人権・同和教育視察研修 in 奈良

12/6～12/7

今年も中央ブロック公民館６館合同の県外視察研修会を行い、奈良県の水平社博物館を見学しました。

博物館周辺では学芸員さんの説明を聴きながらフィールドワークを行ないました。

２日目は東大寺なども見学しました。

みんなの学校上映会

内中原小学校で開催された企画に参加しました

2/3

「支援の必要な子どもや不登校の子どもも同じ教室で一緒に学ぶ」みんなが笑顔になる大空小学校の映画「みんなの学校」上映会に参加しました。

子どもたちの特徴をとらえ、協力しながら対応している先生の姿や、子どもたちにとって、この学校が自分たちの居場所になっているということを感じました。主催：内中原小学校ＰＴＡ・みんなの学校上映実行委員会

松江市地域指導者研修

9/26～27

松江市が主催する視察研修へつながりの会より３名参加しました。

大阪府堺市の舳松 人権歴史館や大阪市のリバティ大阪などを視察しました。

あとがき

つながりの会 会長 石富 登紀子

今年の寒波到来は、予報もあり、覚悟はしていたものの、連日の雪かきは大変でしたね。でも近所の方々と力を合わせて道を開けたり、雪を運んだりの作業は、日頃のご無沙汰を許していただく機会にもなりました。

さて、今年度の会報は、今までと違うことにお気づきでしょうか。

一口で、人権の学びと言っても、その成果はすぐに目の前に現れるものでもなく、日々の積み重ねが不可欠で、一人ひとりの主体性に期待するところが大きい地道な活動です。

しかし、今の自分の在り方を見つめ直したり、人の思いに寄り添ったり、助け合って、みんなが心地良く生活していくための基盤となるとても大切なものでもあります。

そのために、つながりの会がどんな活動をしているのか、少しでも理解していただき、仲間になっていただけたらと、このような形式にしました。

一読いただき、ご感想をお伝えいただければ幸いです。

城西地区人権・同和教育推進協議会だより

城西 つながり

平成30年3月
事務局
松江市城西公民館
電話 26-2659
発行/つながりの会

H29.10.28～29 城西まつり「人権のひろば」展示・視覚障がい体験

スタートライン

つながりの会 副会長 吉田裕三

こんな「たより」あったかな？と、お思いになった方もいらっしゃるかもしれません。

実は、この「つながり」という地区の人権だよりは、平成二十四年に現在の名前になったのですが、今回は装丁を一新しカラー版一枚にしたのです。

その理由のひとつには、これを発行している「城西地区人権・同和教育推進協議会」の名前を今年度から【つながりの会】と改称したことです。

それは、今までの「協議会」と「人権を学ぶ会」の皆さんがいっしょになって、新たな会として再スタートを切ったことにあります。

タイトルの「な」と「が」が手を結んでいるのは、そんな意味も込められています。

そして、みんなでつながり合って人権を学び、啓発の輪を広げていこうという石富会長の熱き思いと、読みやすい紙面作りに尽力くださった公民館の安田さんの情熱を感じてくだされば幸いです。

各種研修事業

12/13 ～出前講座～ 城西児童クラブ指導員

ＬＧＢＴについて学び考える

※LGBT（エルジービーティー）とは…性的少数者を限定的に指す言葉。レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(出生時に診断された性と、自認する性の不一致)の頭文字をとった総称である。

11/22 朝日・城東・城西交流研修会

外国人の人権について

5/30 ～人権研修会～ 人権の学び直し

第1回総会時の研修
元雑賀公民館　内村館長による講演会

7/24 ～出前講座～ 内中原児童クラブ

多勢久美子さん

民話から学ぶ人権

人権の広場 共に生きる、地域の輪を広げよう

「知ってほしい！ 私たちの見え方・困りごと」から

災害時の対応

情報が欲しい
防災訓練へ参加したい
どこへ避難するのかなど

点字ブロック・白杖

安全に歩く
ために必要
点字ブロック
をふさがないで

盲導犬

盲導犬が背中にハーネスを
つけている時は仕事中です
（名前を呼んだり、さわったりしない）
※危険だと思うときは
ユーザーさんに声を
かけましょう

横断歩道

信号があっても音の聴き違いもある。
おかしいと思ったら声掛けを
信号のない横断は大変です
「渡られますか」「お手伝いしましょうか」
など声掛けを

つながりの会の願い

城西地区に住むひとりひとりが
生き生きと生活し
思いやりの気持ちで
つながり合う地域を目指す

アイマスク・点字ブロック体験・誘導体験

9/30 研修内容
知ってほしい！私たちの見え方・困りごと

視覚障がいの方たちによる講演

3/6 ～人権研修会～ ビデオで学習

第2回総会時の研修
家庭の中の人権～カラフル～

～参加された方の感想～

３人の講師の体験談を聞く機会となりました。

子育ての中で、子どもの病気の急変がわからず、幸い上の子どもさんの判断で、最悪の事態が回避できたこと。またほとんど光が見えない方には、歩道橋のステップを黄色にすることで、見え方がよくなったことなど話されました。その他、防災情報が入らず、災害があった時の困難についても話されました。

次に、「アイマスク体験」をしました。点字ブロックの上を「白杖」で探りながら、ブロックの上に置いてある障害物を察知して、安全に歩くという体験でした。

方向感覚や距離感がつかめず尚更大変で、「ドタバタ」のゴールでした。

この研修会を受けて、お困りの方を見かけたら積極的に声をかけ、自然体で手を差し伸べたいと思いました。これからも共に助け合って、より豊かな暮らしができるようにしたいと強く思いました。